

議案第20号 函館市産業支援センター 条例の一部改正

特色ある企業の創出と地域産業の発展のための改正となっているかという観点から

- ・ 条例改正の内容
- ・ 今後見込まれる効果

主な理事者の説明

議案第1号

○特定建築物耐震化支援事業費

補助対象となる特定建築物は13施設あり、耐震診断により、いずれも耐震補強が必要とされた。

「避難所の防災拠点建築物」にかかる耐震改修補助金制度の改正に向けた動向を見守る必要があったこと等から、設計や工事の実施時期変更の申出があり、執行件数の減に至ったもの。

議案第20号

センター内の貸し研究事務室および貸し試作工場で満室の状態が続き、新たな入居希望に対応できない状況であることから、利用頻度が低いデザイン開発室を改修し、創業段階などで使いやすいプレインキュベータールーム4室を設置するもの。

より低廉な使用料に改定し、事業展開の拠点を提供することは、創業予定者などが次のステップに進むための後押しになり、特色ある企業の創出や産業の発展に資すると考えている。

委員間の協議

説明は理解でき、論点で挙げたものについては了解した。

大きな課題が残るようなものはない。などの理由で賛成。

民生分科会

議案10件を審査

議案第1号 平成28年度函館市一般会計 補正予算（民生分科会関係部分）

○防犯対策強化事業

- ・ 事業の内容や効果
- ・ 事業や運営の内容

主な理事者の説明

○防犯対策強化事業

本事業は、国の事業であり、先般、相模原の障がい者支援施設において殺傷事件が発生したことを踏まえ、外部からの不審者等の侵入に対する防犯対策を強化するため、110番直結非常通報装置や防犯カメラ、カメラ付きインターフォンの設置等、障がい者支援施設や有料老人ホーム、保育所などの施設の安全対策に必要な工事に對して費用を助成するもの。

国においては、平成29年度も当該事業を継続していく。

○就労継続支援事業所整備事業

本事業は、国の補助事業であり、通常の企業に雇用されることが困難な身体、精神、知的の障がいがある方や難病の方の働く場となるホテルを建設しようとするもので、就労継続支援A型事業所として、障がい者の利用定員を65名として雇用契約を結び、職業指導員などのスタッフを配置のうえ、フロント業務やロビー業務のほか、清掃や宿泊予約の受付等、ホテル業務全般を行うもの。

委員間の協議

○防犯対策強化事業

防犯対策は非常に大事なことであり、来年度も継続されるということなので、

今後さらに利用する施設が広がるよう、行政でしっかりと周知してほしい。

○就労継続支援事業所整備事業

障がい者の方は、雇用の確保を本望に望んでいると思うし、雇用された方が働く場で成長すれば、今後の就職にも繋がることなどから、65名の雇用が維持されるよう、行政としてもしっかりと対応してほしい。

などの理由で賛成。

12/12～15

一般質問

21人が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。詳細は、2月下旬までにホームページ等で公開予定の会議録をご覧ください。

性犯罪被害者に対する支援

市政クラブ

浜野

幸子

市果たす役割について伺う。

道警函館方面本部を中心に開催している性暴力被害者支援の研修会等に

参加しており、地域一体で被害者に寄り添った支援の仕組みづくりを進める中で市がどのような役割を担えるか道や関係機関とも連携し検討したい。

障害者差別解消法に関する取り組み

民主・市民ネット 齊藤 佐知子

各部署で合理的配慮が提供できると、指針を示すべきではないか。

現在、合理的配慮として好ましい窓口での対応例などを記載した職員

対応要領を作成しており、確定後全部局に配付の上、適切な対応と障がい者との相互理解の促進に努めていきたい。

養殖コンブの芽落ち・脱落被害対策

公明党 茂木 修

海洋環境変化や低気圧等の影響により発生した養殖コンブの被害に対し、どのような対策をとっているか。

現在の真昆布養殖技術は地球温暖化に伴い変化した海洋環境に適合していない可能性もあるため、養殖技術の改良について研究を進めている。

天然コンブ等の減産に対する対応

市民クラブ 工藤 篤

水産関連研究機関はどのように対処しようとしているのか。

天然コンブが採取できない場合に備えたコンブ優良株配偶体の長期保管技術の開発やコンブ育成環境のモニタリング技術の実証等、外部資金を獲得し研究を進めていこうと努力している。

介護予防・日常生活支援総合事業

日本共産党 中嶋 美樹

訪問型サービスAのメリット、デメリットはどういった点か。

緩和した基準により事業者は新たな人材が雇用可能となるほか、利用者はサービスの利用回数に見合った費用負担となるが、事業者が得る報酬が減少することもあると認識している。

公共交通の必要性

市政クラブ 藤井 辰吉

公共交通の必要性の高まりをどのように感じているか。

人口減少、高齢化が進む中、コンパクトなまちづくりが必要だが、交通体系を将来にわたってどう維持していくか、関係者とも連携し工夫しながら取り組みたい。